

日本オラクルの優れたパートナー企業として 「Rising Star-Japan」賞を受賞

当社はこのたび、日本オラクル株式会社より、「Oracle Excellence Awards 2015」で「Oracle Excellence Award Specialized Partner of the Year: Rising Star-Japan」を受賞しました。

今回の受賞は、「Oracle Exadata Database Machine」導入案件における当社の積極的な提案活動が、「パートナー企業の事例では類を見ない」として評価されたものです。今後もより高品質なソリューションをお客さまに提供すべく、引き続き邁進してまいります。



表彰式の様子

映像監視でマイナンバー等の重要データのセキュリティ対策を! ArgosViewデータセンター向けソリューションを提供開始

当社の連結子会社であるヴィ・インターネットオペレーションズは映像監視システム「ArgosView (アルゴスビュー)」を用いたデータセンター向けソリューションを7月21日より発売しました。

マイナンバー制度の開始をはじめとして、今後、重要データの爆発的な増加が見込まれていることなどから、データセンターにおける安全監視はデータセンター運用事業者にとって喫緊の課題となっています。「映像の長期保管」

「1台のカメラ映像を分割した詳細監視」「映像だけで実現するアラート機能」等を中心に、データセンターにおけるセキュリティレベルの向上を図ることで、ITインフラの安心、安全を実現します。



魚眼映像

9分割

イベント・セミナー予定

東京地区

「情報漏えい対策」から「ワークスタイル変革/BCP対策」まで仮想デスクトップで一発解決

日時 10月23日(金) 14:00~17:00

場所 シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 本社 会議室

大阪地区

施行間近! 対策はもうお済ですか? 「e-文書法改正」「マイナンバー制度」対応セミナー

日時 9月11日(金) 14:00~17:00

場所 梅田オフィス セミナールーム

九州地区

教育ソリューションセミナー ~先進事例に学ぶ アクティブラーニングの活用・推進~

日時 10月23日(金) 13:30~18:30

場所 九州営業所 セミナールーム

詳しくは <http://service.is-c.panasonic.co.jp/event/> をご覧ください!

Move to Delight

IS クローズアップ

2015
09 Vol.44

パナソニック インフォメーションシステムズ

Close Up Now

一番人気はあのグッズ?
「POSシステム」が支える
スタジアムの舞台裏



TOPICS

日本オラクルの優れたパートナー企業として「Rising Star-Japan」賞を受賞

映像監視でマイナンバー等の重要データのセキュリティ対策を! ArgosView データセンター向けソリューションを提供開始



あいえず☆うちのBOSS

サービスビジネス本部
IDCサービス事業部
グループリーダー 岡山正之



あいえず☆うちのBOSS

その21

「稼働後、きちんと運用できるようなサーバ構築を心がけています」と語るのは、IDCサービス事業部の清水健介。グループリーダーの岡山正之を紹介してくれました。「当部署はサーバ環境の構築・提供を行うグループで、私の中でもお客さまのデータセンター内に構築する『オンプレミス型』を担当しています。岡山さんは東京、私は大阪に在籍しているため会う機会は少ないですが、業務が立て込むと「体には気を使ってください」とまめに声を掛けてくださる。さりげない気遣いが身にしみず。サーバ環境提供の流れは、大まかに①ご提案②構築③運用の3フェーズ。彼の担当は②構築ですが、いつも全フェーズを意識しながら仕事

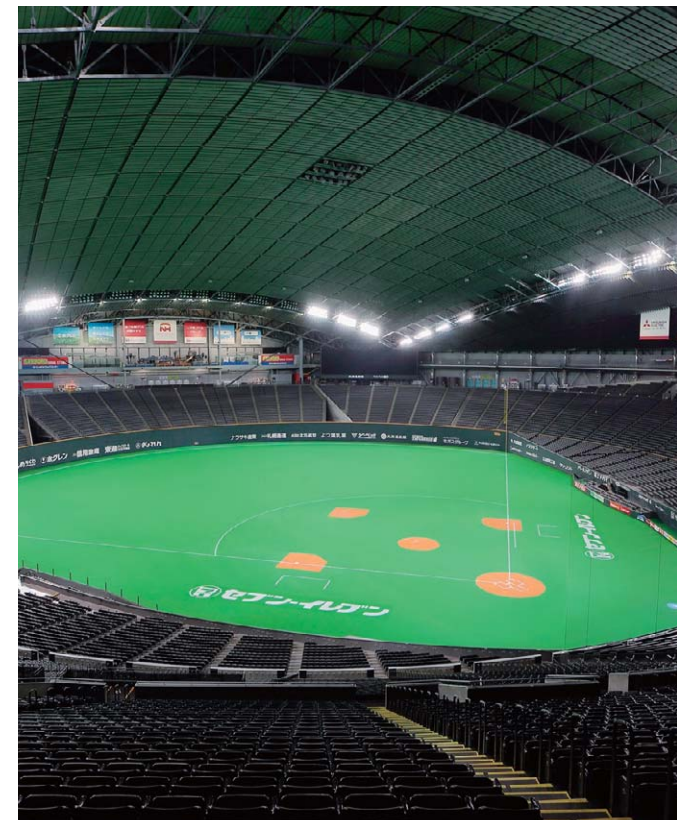


サービスビジネス本部
IDCサービス事業部
清水健介

門真と神谷町で、部下、上司が速くはなれているので、門真メンバーとはTV会議以外で顔を合わす機会はあまり多くはないのですが、その分、清水さんがリーダーシップを発揮して門真のメンバーをとりまとめ、お客さまのニーズに妥協することなく、しっかり業務を推進していただいているので、心強い限りです。

今号のボス

サービスビジネス本部
IDCサービス事業部
グループリーダー
岡山正之



▲北海道最大、日本最北の全天候型ドーム・札幌ドーム

社長・前川のちょっと一言!

「サービスイン」

先日の北海道出張の際、札幌ドーム様、千歳水族館様にご挨拶に伺いました。札幌ドーム様には今年3月からスタジアム内売店等のPOSシステムをご利用いただき、千歳水族館様には今年7月25日のリニューアルオープンにあたってチケットシステムをご採用いただき、サービスをスタートしたところです。

両施設様ともにサービス開始以降スムーズな運営ができていたとのことで、まずはホッと胸をなで下ろしました。一方、今後もしっかりとサポートし続けてほしいとのご要望もいただき、将来に

わたってお客さまの事業を支えるパートナーとしての責任をしっかりと果たさねばならないと、決意を新たにしたところです。IT業界ではシステム納入を「カットオーバー」と言うケースが多くあります。しかし、私は、システムとは「納入して終わり」ではなく「納入からサービスインするもの」だと考えています。お客さまと共に歩むパートナーとしての関係はそこから始まり、その先に満足を越えた感動があるのです。その信念を胸に、今後もお客さまの感動を生むサービスをお届けし続けてまいります。



代表取締役社長 前川 一博
Kazuhiro Maegawa

編集後記

今回初めて札幌ドーム様へお邪魔しました。イベントのない日だったのでグラウンドに入っていたのですが、視界一面に広がる芝と観客席は圧巻でした! すっかりプロ野球選手になった気分…。お客さまからは今後実現させたいサービス改善の構想をたくさんお話しいただき、「来場者目線」で考えるお客さまの熱い想いに触れられた取材となりました。札幌はそろそろ秋の気配でしょうか?是非また伺いたいです!

発行元
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
法務部 広報・IRグループ
〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006番地 パナソニック(株)本社内
TEL 06-6908-0245 FAX 06-6906-4717 <http://is-c.panasonic.co.jp/>
※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。
※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

一番人気はあのグッズ? 「POSシステム」が支える スタジアムの舞台裏

ユニフォームに着替えてスポーツ観戦。売店グルメに舌鼓を打ち、選手のスーパープレーに沸き、7回表終了後には飛び交うジェット風船…。スタジアムって本当に楽しい場所ですね。今回は札幌ドーム様にお邪魔し、舞台裏を少しだけ覗いてみました。こちらの売店やグッズショップのレジでは、パナソニックISのPOSシステムが活躍しているんです!

試合観戦に必須の グッズ・飲食販売をサポート!

札幌ドームは、プロサッカー「コンサドーレ札幌」とプロ野球「北海道日本ハムファイターズ」、2つのプロチームの本拠地となっている世界でも数少ないスタジアム。開業20周年を迎える2021年に向け、来場者サービス向上のためのシステム投資を積極的に行っています。

そのひとつとしてパナソニックISが2015年3月に導入したのが、レストラン「スポーツ・スタジアム・サッポロ」や場内の飲食売店、グッズショップ「グッズ☆ジャム」の売上管理を行うPOSシステムです。これは、レジに置かれたPOS端末からの情報をリアルタイムで収集し、売上や在庫情報、購入した顧客情報などを一括管理するというしくみ。

集計業務の効率化が図れるだけでなく、店舗運営の戦略立案やその効果測定も可能にします。

株式会社 札幌ドーム
〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
<http://www.sapporo-dome.co.jp/>



▲札幌ドームのグッズショップ「グッズ☆ジャム」

お客さまが語る! 導入ストーリー

今回の新POSシステムの選定にあたり、株式会社 札幌ドーム 商業部 物販事業課長の出口 達也氏は「料金形態と、稼働後のサポート体制が決定打になりました」と語ります。

「パナソニックISの提案は「ファシリティ・クラウド」——機器の保守も含めた月額サービス利用、というものでした。初期投資負担を抑えられ、稼働後もしっかりと面倒を見てくれるという安心感がありましたね。また、導入後は他球場と情報交換できるユーザー会を開いてくれるという点も、導入して終わりではないという姿勢に好感が持てました」(出口氏)。

通常、POSシステムの構築には約1年の歳月を要しますが、札幌ドームにはどうしても間に合わせなければならないイベントがありました。それは春のプロ野球オープン戦。パナソニックISは2015年3月1日の稼働開始を目指し、約半年で構築を進めることとなったのです。

使い慣れた旧システムは、実は相当なカスタマイズが施されたもの。今回のシステム刷新に際しても同等の使い勝手を実現するため、多くのカスタマイズが必要となりましたが、幾度ものディスカッションを経て何とか稼働にこぎつけました。

キーボードからタッチパネルに変わった新システムは操作性に優れており、アルバイトスタッフは違和感なく使っているそう。

目に見えて効果が表れたのがグッズワゴンの日次締め処理です。PDA(携帯情報端末)に記録された売上データを管理システムへ転送する作業ですが、従来はトータル30~40分掛かっていたもの

「料金形態とサポート体制が決定打に。 グッズワゴンの日次締め処理を63%短縮できました」

—— 株式会社 札幌ドーム 商業部 物販事業課長 出口 達也氏

が、新システムでは約15分で済むように。63%もの時間短縮となりました。さらに、集計した売上データを分析してサービスの改善につなげたり、オリジナルフードメニューの考案に活用することも容易になったといいます。

2015年7月には、「グッズ☆ジャム」のレジへ自動釣銭機を導入。「プレイボールの30分前くらいまで、応援グッズを買い求めるお客さまで長蛇の

列ができるんです。釣銭のやり取りの数秒でも惜しくて。お客さまにはできるだけスムーズに、快適に買い物をしていただきたいというのが一番ですね。札幌ドームでは毎年モニターアンケートや座談会を実施し、お客さまの声を取り入れています。今後もグッズワゴンでのクレジットカード対応などといった設備強化を継続して進めたいと考えています」と、出口氏は来場するファンへの思いをにじませました。



株式会社 札幌ドーム
商業部
物販事業課長
出口 達也氏

ここがすごい! パナソニックISのPOSシステム

1 会計速度の向上!

素早いレスポンスで簡単な操作性と高速の自動釣銭機でお客さまの待ち時間を軽減。確定ボタンを押下してから1秒もかからずに釣銭が出てきます。

2 選べる利用形態!

通常の「一括購入+保守費用モデル」だけでなく、レンタルサービスとして月額利用料をお支払いいただく「ファシリティ・クラウドモデル」もご用意。初期費用、固定資産税を抑えられます。

3 高精度な売上分析!

フードやグッズの仕入れ予測は、担当者が長年の経験から決めるケースがほとんど。各試合の状況や対戦カード、季節などの項目ごとに分析できる機能を標準搭載しています!(売上情報をリアルタイムで確認できます)

稼働後も
私たちがしっかり
サポートします!



札幌ドーム様 担当営業
営業本部 東日本ソリューション営業部 須川 信浩

システムだけでなくPOS端末もハンディターミナルも パナソニックISの「ファシリティ・クラウド」

通常のクラウドサービスはシステムだけを利用するもの。パナソニックISがご提案する「ファシリティ・クラウド」では、システムにとどまらずPOS端末やハンディターミナルなどの機器もパナソニックISからの提供サービスとしてご利用いただけます。

これにより初期投資負担を大幅に抑えられるだけでなく、管理・運用の手間も不要に。その分、売場づくりや新商品開発に一層力を注ぐことができます。「クラウド」なので、必要に応じてPOS端末の利用台数を増減させることなども可能です。

